

[illegible]

☐標 ☐短 () ☐標 ☐短 () ☐不規則 () ☐弟妹 ☐多 ☐地·外

記入上の注意

③保育の利用を必要とする理由等

※保護者の労働又は疾病等の理由により保育所等において保育の利用を希望する場合に記入してください。

保育の利用を必要とする理由	続柄	必要とする理由		備考
	父	□就労 □妊娠・出産 □疾病・障害 □介護等 □災害復旧 □求職活動 □就学 □その他（ ）		
	母	□就労 □妊娠・出産 □疾病・障害 □介護等 □災害復旧 □求職活動 □就学 □その他（ ）		
求職活動の状況	ハローワーク等の就職斡旋機関等で仕事を探している 父 □ 母 □ 上記以外の方法で仕事を探している 父 □ 母 □			
家庭の状況	□ひとり親家庭 ・ □左記以外			
希望する利用曜日・時間	利用曜日		利用時間	
	曜日から 曜日まで		午前 時 分から 午後 時 分まで	

④税情報等の提供に当たっての署名欄

市が施設型給付費・地域型保育給付費等の教育・保育給付認定に必要な市町村民税の情報（①に記入した児童の同居者の情報を含む。）及び世帯情報を閲覧すること、また、その情報に基づき決定した保育料について、特定教育・保育施設等に対して提供することに同意します。
保護者氏名 鳥 栖 北 斗

⑤入所審査補助事項（□にチェックを入れて下さい）

	世帯の状況		該 当	非該当
1	保護者（父母）のどちらかが単身赴任により遠隔地に居住している		□（父・母）	□
2	市内の保育所、認定こども園、地域型保育事業、認可外保育施設、放課後児童クラブに従事する（就労内定も含む）保育士、支援員等である		□	□
3	祖父母が同居している（同一住所であれば、世帯分離している場合も含む）		□	□
4	きょうだい児の入所	□非該当 □同時入所・同園を希望 □同時入所希望だが、別園でも可 □別時期入所でも可だが、同園希望 → 【入所できない児童の保育予定： 】		
5	現在の保育状況	□保育施設等を利用中（施設名： ） □家庭保育 □その他（ ）		
6	入所できない場合の予定	□育休を延長する（令和 年 月まで延長可） □他の施設に預ける（利用予定施設 → □事業所内託児所 □幼稚園 □認可外保育施設） □親族等に預ける □一時保育を利用する □その他（ ）		
7	送迎	送迎方法	□車 □自転車 □徒歩 □公共交通機関	
		送迎者	□母 □父 □祖父・祖母 □その他（ ）	
8	母の出産予定	□有（出産予定日 令和 年	受付施設で記入をお願いします。	

※施設記載欄（施設（事業者）を経由して市町村に提出する場合）

受付年月日	令和 年 月 日
施設（事業者）名	（事業所番号： ）
担当者氏名・連絡先	（担当者） （連絡先）
入所契約（内定）の有無	有（契約・内定（ 年 月 日契約（内定） ） ・ 無
備考	

この教育・保育給付認定申請書は、保護者が次の点に注意し記入のうえ市役所（施設（事業者）を経由して提出する場合は、入所を申し込んだ施設）に提出してください。なお、その家庭から2人以上の児童が同時に申請を行う場合は、それぞれの児童ごとに1枚の用紙を用いてください。

（表面）

- 「申請児童」の欄は「氏名」にふりがなを付してください。
- 「障害者手帳の有無」の欄は、申請児童に係る障害者手帳（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳等）の有無について、該当するものにチェック（☑）してください。
- 「保護者住所・連絡先」欄の（連絡先）については、連絡先が複数ある場合は連絡のつきやすい順に全て記入してください。
- ①「世帯の状況」の欄は、申請児童本人以外の申請児童の両親（同居・別居の別を「備考」に記入してください。）及び同居している（住所が同一である）親族等の全員について記入するとともに、「障害者手帳又は特別児童扶養手当の受給の有無」の欄は該当するものにチェック（☑）してください。障害者手帳は、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳等のいずれかをお持ちの場合になります。
- ②「利用を希望する期間」の欄は、小学校就学始期に達するまでのうち、施設（事業者）の利用を希望する期間を記入してください。（「保育の希望の有無」の欄で「有」にチェック（☑）した場合は、保育の実施が必要な理由に該当すると見込まれる期間の範囲内で記入してください。）
- ②「利用を希望する施設（事業者）名」の欄は、希望する順位に従い施設（事業者）名を記入し、また、その施設（事業者）を希望する理由を記入してください。

（裏面）

※ 裏面の③「保育の利用を必要とする理由等」の欄は、表面の「保育の希望の有無」の欄で「有」にチェック（☑）した場合に記入してください。（「無」にチェック（☑）した場合は記入の必要はありません。）

7 保育の認定基準は、次の表に掲げるような場合です。

保育の認定基準
保育の必要性の認定を受ける場合は、両親いずれも（両親と別居している場合には児童の面倒を見ている者）が次のいずれかの事情にある場合です。
(1)就労等（家庭外労働）児童の保護者が家庭の外で仕事をするのが普通なので、その児童の保育ができない場合 （家庭内労働）児童の保護者が家庭で仕事をはなれて日常の家事以外の仕事をするのが普通なので、その児童の保育ができない場合
(2)妊娠・出産 児童の保護者が出産の前後のため、その児童の保育ができない場合
(3)疾病・障害 児童の保護者が病気、負傷、心身に障害があったりするので、その児童の保育ができない場合
(4)介護等 児童の家庭に介護が必要な高齢者や、長期にわたる病人、心身に障害のある人、小児慢性疾患に伴う看護が必要な兄弟姉妹がおり、保護者がいつもその同居又は長期入院・入所している親族の介護・看護にあたっているため、その児童の保育ができない場合
(5)災害復旧 火災や、風水害や、地震などの不幸があり、その家庭を失ったり、破損したため、その復旧の間、児童の保育ができない場合
(6)求職活動 児童の親が求職活動（起業準備を含む）を行っているため、その児童の保育ができない場合
(7)就学 児童の親が就学（職業訓練校等における職業訓練を含む）のため、その児童の保育ができない場合

8 ③「保育の利用を必要とする理由」の欄は、表面の①「世帯の状況」の欄に記入した児童の世帯員のうち、両親及び同居している両親以外の同居している親族等ごとに、児童を保育できない理由を7の表(1)～(7)のいずれの掲げる場合に該当するかを判断して、該当する全ての□にチェック（☑）してください。なお、(1)～(7)の場合以外で児童を保育できない理由がある場合（就学や親のいない家庭など）は「その他」にチェック（☑）し、内容を（ ）内に記入してください。

※「備考欄」には、保育の利用を必要とする期間を記入してください。

例：育児休業取得中（もしくは取得予定）の場合：育児休業復帰予定日

傷病等の場合：傷病名や治療見込期間等

就学等の場合：就学期間

9 ③「家庭の状況」の欄は、該当する□にチェック（☑）してください。

10 ④「税情報等の提供に当たっての署名欄」は、署名欄の記載の内容を確認のうえ、署名してください。

（留意事項）教育・保育給付認定（保育の必要性の認定）及び施設（事業者）への入所については、

・保育の実施基準に該当しないため、希望する認定が受けられない場合

・希望者が多数いるため希望する施設に入所できない場合

・保育の実施基準の該当事由により利用期間の希望に添えない場合がありますので、あらかじめご承知おきください。